

今回のテーマは 『手足口病』

県内を含めた全国で、**患者さんが増加**しています！

手足口病とは？

手や足、口の中などに発疹ができるウイルスによる感染症です。主に夏場に流行し、患者は子どもが中心で、90%程が5歳以下の乳幼児といわれています。

そのため、**保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。**

【手足口病の発疹】



引用元：みやけ内科・循環器科



引用元：大阪健康安全基盤研究所

原因は？

ウイルス性の感染症で、咳やくしゃみなどの飛沫や、便中に排泄されたウイルスに感染することで発症します。ウイルスは、発疹が治った後も、比較的長い間、便の中に排泄されます。

治療は？

特別な治療方法はなく、また、基本的には軽い症状の病気であり、経過観察を含め症状に応じた治療になります。しかしまれに、**髄膜炎や脳炎など重い合併症が起こる場合もありますので、経過観察が重要**です。

予防するためには？

- ◆手洗いは、流水と石けんで十分に行うようにしましょう。
- ◆排泄物を適切に処理しましょう。



特に保育施設・幼稚園などでは注意！

感染を広げないために、職員と子ども達がしっかりと手洗いをするのが大切です。また、おむつ交換をする時は、手袋やエプロンを使用し、処理前後にしっかりと手洗いを行い、排泄物を適切に処理しましょう。

タオルの共用で、感染が広がることもあります。使い捨てのペーパータオルや個人のタオルを使用しましょう。

【参考】・宮城県ホームページ：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/situkan/teashikutiby02019.html>

・手足口病の写真：https://www.miyake-naika.or.jp/13_medemiru/kodomo_teashikuchi.html
：<http://www.iph.pref.osaka.jp/kansen/takuchi/tak1.html>

*写真の無断転載を禁じます。